

都市再生整備計画 事後評価シート  
石垣市中心市街地地区

平成23年3月

沖縄県石垣市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	沖縄県		市町村名	石垣市		地区名	石垣市中心市街地地区			面積	107ha		
交付期間	平成18年度～22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	340百万円	国費率	0.400				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	事業名 地域生活基盤施設・広場(中心市街地内道路等環境整備事業:ポケットパーク)、地域生活基盤施設・公開空地(蔵元跡地整備事業)、地域生活基盤施設・情報板(回遊スポット整備事業)、地域生活基盤施設・情報板(情報板・案内板整備事業)、高質空間形成施設(中心市街地内道路等環境整備事業:カー舗装)									
			提案事業	地域創造支援事業(あやばにモール環境整備事業)、地域創造支援事業(ゆんたく広場整備事業)、地域創造支援事業(景観形成推進事業)、地域創造支援事業(蔵元跡地整備事業:文化財調査)、事業活用調査(事業評価調査)、まちづくり活動推進事業(回遊スポット整備事業:資料収集・出版)、まちづくり活動推進事業(回遊マップ整備事業)、まちづくり活動推進事業(まちづくり活動支援事業)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			提案事業	まちづくり活動推進事業・社会実験(730交差点スクランブル化・自転車タクシー)	事業内容等の精査により効果的な事業に絞ったため		-		まちづくり目標に関連するが、影響が少ないため指標及び数値目標は据え置く。				
	新たに追加した事業		基幹事業	地域生活基盤施設・駐車場(蔵元駐車場整備事業)	-		当該場所で予定されていた関連事業の変更を受け、その代替として、来街者の利便に資する駐車場整備を行うため		まちづくり目標に関連するが、影響が少ないため指標及び数値目標は据え置く。				
提案事業			なし	-		-		-					
交付期間の変更		当初	平成18年度～22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	-										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	来街者数(歩行者通行量)	人/9H	1,400	H17	1,800	H22	1,416	2,047	○	あり	・ポケットパーク、ゆんたく家、公設市場改修等の実施による魅力向上及びモール内に新たな店舗立地等により、中心市街地の回遊、交流機能が大きく向上し、中心市街地への来街者数は大きく増加した。	-
	指標2	満足度(石垣らしさ)	%	55	H17	70	H22	56	79	○	あり	・石垣の昔ながらの家屋を再現したゆんたく家、公設市場脇の路地、琉球石灰岩・赤瓦を使用した休憩所及び歩道等の整備により、石垣らしい景観創出を行った結果、観光客・市民が感じる「石垣らしさ」が大きく向上した。	-
指標3	満足度(わかりやすさ)	%	33	H17	60	H22	34	73	○	あり	・情報板や案内板の設置、まちなか回遊マップの作成により、中心市街地における情報の充実を図った結果、観光客・市民が感じる中心市街地の「わかりやすさ」が大きく向上した。	-	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況		指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
		その他の数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4) 定性的な効果発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・公設市場の修繕において、照明・サインの改修、多目的トイレの整備等を行ったことにより、買い物のしやすさ、居心地の良さ、安心感、環境(臭気)が改善された。また、排水施設の改修により大雨による冠水被害がなくなり大雨の際も顧客をもてなせる環境が整った。</li> <li>・ゆんたく家を整備したことにより、まちの情報発信が増えたり、当該場所にて結婚式が執り行われるなど、銀座通りの認知度やイメージが高まった。また、「休憩できて助かった(アンケート自由意見より)」との観光客からの感想がでるなど休憩施設としてもホスピタリティの向上に寄与している。</li> <li>・本土復帰後、交通法規の変更による左側通行へのスムーズな移行がなされたことを記念して建てられた「730石碑」周辺を整備したポケットパーク(730シーシーパーク)は、観光客に人気の記念撮影スポットとなりつつある。</li> <li>・ミンサー模様に整備された道路は、「観光客にとって楽しい(アンケート自由意見より)」との感想がでるなど街なか散策における変化と楽しさを与えている。</li> <li>・道路等整備事業により、歩道と車道との接点にある段差が解消されバリアフリー化したことは障がい者や高齢者等にも回遊できる利便性の向上と福祉のまちづくりに寄与している。</li> <li>・交付金事業がきっかけとなり、まちづくりへの機運が高まり、関連団体や市他部署での関連する事業が誘発された。</li> </ul>											
5) 実施過程の評価		実施内容		実施状況				今後の対応方針等					
		モニタリング	公民連携のもと委員会形式にてモニタリングシートにそって事業の進捗状況や成果の発現状況等を確認した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ○				フォローアップ調査等で確認を行った。					
		住民参加プロセス	ゆんたく広場(ゆんたく家(コミュニティ施設))整備及び道路整備において、商業関係者等地元の意向を反映した計画に基づき事業を実施した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ○				引き続き、必要に応じて地元との対話を行いながら計画検討等を行っていく。					
		持続的なまちづくり体制の構築	ゆんたく広場の自主運営を目的とした「ゆんたく家協議会」を結成、まちなか活性化の主体として活動を開始した。	都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ○				ゆんたく家施設を活用した商店街イベントの開催、市民大学校や子供学校(わらばあーと)を実施。今後、協議会では、商店街の環境改善を目的として、アーケードの大規模改修事業等を展開する予定。					



# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他( )		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路									
公園									
河川									
下水道									
駐車場有効利用システム									
地域生活基盤施設	広場: 中心市街地内道路等環境整備事業(ポケットパーク)	11	面積=204.2m <sup>2</sup>	7	面積=100m <sup>2</sup>	事業内容等の精査による事業の縮小	まちづくり目標に関連するが、影響が少ないため指標及び数値目標は据え置く。	●	
地域生活基盤施設	駐車場: 蔵元駐車場整備事業	0	—	4	面積=3,000m <sup>2</sup>	当該場所で予定していた県連事業の変更等を受けた代替事業	まちづくり目標に関連するが、影響が少ないため指標及び数値目標は据え置く。	●	
地域生活基盤施設	公開空地: 蔵元跡地整備事業	133	面積=960m <sup>2</sup>	26	面積=250m <sup>2</sup>	事業内容等の精査による事業の縮小	まちづくり目標に関連するが、影響が少ないため指標及び数値目標は据え置く。	●	
地域生活基盤施設	情報板: 回遊スポット整備事業	17	説明板: 6基	4	説明板: 4基	事業内容等の精査による事業の縮小	まちづくり目標に関連するが、影響が少ないため指標及び数値目標は据え置く。	●	
地域生活基盤施設	情報板: 情報板・案内板整備事業	29	案内板: 15基 他	26	案内板: 12基 情報板: 7基 他	事業内容等の精査による事業の縮小	まちづくり目標に関連するが、影響が少ないため指標及び数値目標は据え置く。	●	
高質空間形成施設	中心市街地内道路等環境整備事業(カラー舗装)	168	面積=5,811m <sup>2</sup>	189	舗装: 面積=7,400m <sup>2</sup> 休憩所: 7基	他事業の変更等を受け、指標(満足度「石垣らしさ」)の改善を図るための範囲拡大等	まちづくり目標に関連するが、影響が少ないため指標及び数値目標は据え置く。	●	
高次都市施設									
既存建造物活用事業									
都市再生交通拠点整備事業									
土地区画整理事業(都市再生)									
住宅市街地総合整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業									
バリアフリー環境整備事業									
優良建築物等整備事業									
住宅市街地総合整備事業									
街なみ環境整備事業									
住宅地区改良事業等									
都心共同住宅供給事業									
公営住宅等整備									
都市再生住宅等整備									
防災街区整備事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	あやばにモール環境整備事業	46	石垣市公設市場及びその周辺の修繕等	31	石垣市公設市場及びその周辺の修繕等	事業内容等の精査による事業縮小	まちづくり目標に関連するが、影響が少ないため指標及び数値目標は据え置く。	●	
	ゆんたく広場整備事業	31	面積=60m <sup>2</sup>	36	面積=137m <sup>2</sup>	商店街関係者(ゆんたく会議)との協議による計画内容の見直し	まちづくり目標に関連するが、影響が少ないため指標及び数値目標は据え置く。	●	
	景観形成推進事業	15	赤瓦、琉球石灰岩等を住宅や店舗の一部に活用	2	赤瓦、琉球石灰岩等を住宅や店舗の一部に活用	事業内容等の精査による事業の縮小	まちづくり目標に関連するが、影響が少ないため指標及び数値目標は据え置く。	●	
	蔵元跡地整備事業(文化財調査)	10	蔵元跡地の一部における埋蔵文化財発掘調査	1	蔵元跡地の一部における埋蔵文化財発掘調査の事前調査	試掘調査の結果、本掘に係る費用が計画を上回ることから試掘のみとした。	影響なし	●	
事業活用調査	事業評価調査	9	モニタリング、事後評価	8	モニタリング、事後評価	事業内容等の精査による事業費の見直し	影響なし		●
まちづくり 活動推進事業	社会実験:730交差点スクランブル化	4	730交差点のスクランブル化の効果検証のための社会実験	0	-	事業内容等の精査による事業の見直し	まちづくり目標に関連するが、影響が少ないため指標及び数値目標は据え置く。	-	-
	社会実験:自転車タクシー	2	自転車タクシーの効果検証のための社会実験	0	-	事業内容等の精査による事業の見直し	まちづくり目標に関連するが、影響が少ないため指標及び数値目標は据え置く。	-	-
	回遊スポット整備事業(資料収集・出版)	1	回遊スポットの調査、資料出版	1	回遊スポットの調査、資料出版	変更なし	-	●	
	回遊マップ整備事業	1	マップの作成	1	マップの作成	変更なし	-	●	
	まちづくり活動支援事業	19	まちづくり活動活性化のための調査実施	4	まちづくり活動活性化のための調査実施	事業内容等の精査による事業の縮小	まちづくり目標に関連するが、影響が少ないため指標及び数値目標は据え置く。	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
あやばにモール内環境整備事業(アーケードの改修)		あやばにモール					平成19年度に商店街振興組合によりアーケードの照明について改修工事が実施された。	



添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの有無		
			基準 年度	基準 年度	基準 年度	基準 年度	目標 年度	目標 年度	モニタリング	H20	数値	モニタリング	△	あり	なし	
指標1	来街者数 (歩行者通行量)	人/9H	中心市街地内の来街者数(銀座通り(あやばにモール内)公設市場前における午前10時～午後7時の歩行者通行量(平日・休日の平均))	-	-	1,400	H17	1,800	H22	モニタリング	H20	1,416	モニタリング	△		
										事後評価	確定 ● 見込み	2,047	事後評価	○		
指標2	満足度(石垣らしさ)	%	観光客及び市民を対象としたアンケート調査を実施する。中心市街地の景観について「石垣らしさ」を感じられるとの回答割合を評価値とする。	-	-	55	H17	70	H22	モニタリング	H20	56	モニタリング	△		
										事後評価	確定 ● 見込み	79	事後評価	○		
指標3	満足度(わかりやすさ)	%	観光客及び市民を対象としたアンケート調査を実施する。散策するのに「移動しやすいように分かりやすく情報提供されている」と感じるとの回答割合を評価値とする。	-	-	33	H17	60	H22	モニタリング	H20	34	モニタリング	△		
										事後評価	確定 ● 見込み	73	事後評価	○		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	ポケットパークやゆんたく家(コミュニティ施設)、市場及びモール改修等事業の実施により、中心市街地の魅力や交流拠点機能が向上した結果、中心市街地の来街者数が目標値を大きく上回った。	
指標2	石垣の昔ながらの家屋を再現した「ゆんたく家」や、琉球風情の感じられる琉球石灰岩や赤瓦を使用した歩道改修、休憩所整備により、石垣らしい景観創出を行った結果、観光客・市民が感じる「石垣らしさ」が大きく向上した。	
指標3	情報板(誘導標識)や案内板(案内マップ)の設置、「まちなか回遊マップ」の作成により、情報の充実を図った結果、観光客・市民が感じる中心地の「わかりやすさ」が大きく向上した。	

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

**添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測**

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)		本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
		基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1			-	-	-	-	モニタリング	-	-
							事後評価	確定 見込み	

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

**添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況**

- ・公設市場の修繕において、照明・サインの改修、多目的トイレの整備等を行ったことにより、買い物のしやすさ、居心地の良さ、安心感、環境(臭気)が改善された。また、排水施設の改修により大雨による冠水被害がなくなり大雨の際も顧客をもてなせる環境が整った。
- ・ゆんたく家を整備したことにより、まちの情報発信が増えたり、当該場所にて結婚式が執り行われるなど、銀座通りの認知度やイメージが高まった。また、「休憩できて助かった(アンケート自由意見より)」との観光客からの感想がでるなど休憩施設としてもホスピタリティの向上に寄与している。
- ・本土復帰後、交通法規の変更による左側通行へのスムーズな移行がなされたことを記念して建てられた「730石碑」周辺を整備したポケットパーク(730シーシーパーク)は、観光客に人気の記念撮影スポットとなりつつある。
- ・ミンサー模様に整備された道路は、「観光客にとって楽しい(アンケート自由意見より)」との感想がでるなど街なか散策における変化と楽しさを与えている。
- ・道路等整備事業により、歩道と車道との接点にある段差が解消されバリアフリー化したことは障がい者や高齢者等にも回遊できる利便性の向上と福祉のまちづくりに寄与している。
- ・交付金事業がきっかけとなり、まちづくりへの機運が高まり、関連団体や市他部署での関連する事業が誘発された。

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
公民連携のもとで計画管理(モニタリング)を行う体制を検討	予定どおり実施した	●【実施頻度】計1回 【実施時期】平成20年6月～9月 【実施結果】委員会形式にてモニタリングシートにそって事業の進捗状況や成果の発現状況等を確認した。	フォローアップ調査等で確認を行った。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
地元の意向を反映した計画づくり	予定どおり実施した	●【実施頻度】計27回 【実施時期】H18年度～H19年度 【実施結果】ゆんたく広場整備事業に関し、商店街関係者から成る「ゆんたく会議」を開催し、計画内容について協議した案を、実施計画に反映させた。	引き続き、必要に応じて地元との対話を行ないながら計画検討等を行っていく。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		
地元の意向を反映した計画づくり	予定どおり実施した	●【実施頻度】計4回 【実施時期】H18年度～H19年度 【実施結果】道路工事に関する計画については、商店街関係者を中心とした市民ワークショップを開催し、計画内容を検討した。	引き続き、必要に応じて地元との対話を行ないながら計画検討等を行っていく。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
事業後において継続的に商業拠点をマネジメントしていく体制としての確立	予定どおり実施した	● ゆんたく広場整備事業に関し、商店街関係者による自主運営を前提とした計画内容の検討を行い、持続的なまちづくり体制の構築につなげた。	「ゆんたく家協議会」: タウンマネジメント石垣を中心に、石垣市中央商店街振興組合、わくわくスタンプ会の3者によって協定を結び結成。	ゆんたく家施設を活用した商店街イベントの開催、市民大学校や子供学校(わらばあーと)を実施。今後、協議会では、商店街の環境改善を目的として、アーケードの大規模改修事業等を展開する予定。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった(理由)			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった(理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的組織(中心市街地地区都市再生整備計画 まちづくり検討チーム)	都市建設課、企画調整室、商工振興課、観光課、港湾課、文化課	平成22年10月27日 平成22年12月17日 (計2回)	都市建設課(都市再生整備計画事業主管課)

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1	指標2	指標3	
指標名		来訪者(歩行者通行量)	満足度(石垣らしさ)	満足度(分かりやすさ)	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	地域生活基盤施設(広場)中心市街地内道路等環境整備事業	○	・ポケットパークやゆんたく家、市場、モール等事業の実施、まちなか回遊マップの作成やゆんたく家でのイベント開催等により中心市街地としての魅力向上を促し、モール内に新たな店舗立地も促進された結果、中心市街地の回遊、交流機能が大きく向上し、石垣島全体での観光入域者数が減少傾向にある中で、中心市街地への来街者数は大きく増加した。	◎	・情報板(誘導標識)や案内板(案内マップ)の設置、まちなか回遊マップの作成により、中心市街地における情報の充実を図った結果、観光客・市民が感じる中心市街地の「わかりやすさ」が大きく向上した。
	地域生活基盤施設(駐車場)蔵元駐車場整備事業	◎		◎	
	地域生活基盤施設(公開空地)蔵元跡地整備事業	○		◎	
	地域生活基盤施設(説明板)回遊スポット整備事業	◎		◎	
	地域生活基盤施設(情報板)情報板・案内板整備事業	◎		◎	
	高質空間形成施設(カラー舗装、赤瓦休憩所)	○		◎	
提案事業	あやばにモール環境整備事業	○	・あわせて、石垣らしい街並みを十分に認知してもらうための、まちなか回遊マップの作成により、石垣らしさの周知、PR機能も大きく向上した。	-	・あわせて、新たに整備された「ゆんたく家」における街なかに関する情報提供や来街者への問い合わせの対応により、中心市街地のわかりやすさを大きく向上させた。
	ゆんたく広場整備事業	◎		◎	
	景観形成推進事業	○		◎	
	文化財調査	○		○	
	事業評価調査	-		-	
	回遊スポット整備事業(資料収集・出版)	◎		◎	
	回遊マップ整備事業	◎		◎	
まちづくり活動支援事業	○	○			
	あやばにモール内環境整備事業(アーケードの改修)	◎	-	-	

※指標改善への貢献度

- ◎: 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △: 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	・市民と観光客との交流の更なる促進及び回遊を促すソフト的な仕組みづくりを市民と連携し展開して行く。 ・新たな施設や機能の立地誘導等により中心商業地の活力維持・強化を進める。	・南国らしい景観や雰囲気を活用し、観光客等の誘致に向けた石垣島のPRや企画イベント等を展開し、中心商業地等の更なる活性化を促進していく。	・まちなか回遊マップやサイン施設等を有効活用し、新たな観光ルートの設定や魅力あるまちなみへの誘導を促進していく。 ・福祉のまちづくりとの連動を図る。
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内の横断的組織(中心市街地地区都市再生整備計画まちづくり検討チーム)	都市建設課、企画調整室、商工振興課、観光課、港湾課、文化課	平成22年10月27日 平成22年12月17日 (計2回)	都市建設課(都市再生整備計画事業主管課)

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民と観光客間の交流促進</li> <li>・周辺観光資源を含めた回遊性の向上</li> <li>・離島観光のポテンシャルを最大限に活かした中心商業地の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆんたく家(コミュニティ施設)の整備等により、市民と観光客との交流の場が確保された。</li> <li>・まちなか回遊マップの作成、情報板(誘導標識)・案内板(案内マップ)・説明板の設置及びゆんたく家での情報提供により回遊性の向上が図れた。</li> <li>・街並みの石垣らしさの創出や公設市場やモールの改修等により中心商業地の活性化が図れた。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・南国(石垣)らしさ、賑わいの演出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昔ながらの家屋を再現したゆんたく家や公設市場脇の路地(スージーグアー)の整備、琉球石灰岩や赤瓦を使用した休憩所、ポケットパーク、公開空地及び歩道の整備により、石垣らしい景観が演出された。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民と観光客から愛されるホスピタリティを感じられる「まち」への誘導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報板(誘導標識)及び案内板(案内マップ)の整備によるわかりやすさの提供と道路整備によるバリアフリー化への貢献によりホスピタリティの向上が図れた。</li> </ul>		

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
<p>A欄 効果を持続させるため に行う方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民と観光客の交流機能の維持、強化</li> <li>・まちなか回遊性の更なる向上</li> <li>・中心商業地の活力維持、向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民と観光客との交流の場は確保されつつあるが、更なる促進及び回遊を促すため、ゆんたく家の認知度の向上や魅力ある集客イベントを通じてコミュニケーションの場を創出する。</li> <li>・公共施設及び民間集客施設の立地誘導と、新規店舗出店や新たな商品開発のための側面支援を行い、中心商業地の活力維持・強化を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆんたく家を活用した交流イベント等の開催</li> <li>・新規店舗等開業支援や新名物商品開発支援</li> <li>・地域住民も楽しめる港湾空間の整備</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石垣らしい景観の積極的な活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南国らしい景観や雰囲気を活用し、観光客等の誘致に向けた石垣島のPRや企画イベント等を展開し、中心商業地等の更なる活性化を促進していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光誘客事業</li> <li>・石垣らしさや石垣島産品を体感できる取り組み</li> <li>・歴史や伝統文化を積極的に活用する取り組み</li> <li>・街なかボランティア制度の推進やクリーンアップ活動の定着</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすさが向上したまちの積極的な活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなか回遊マップやサイン施設等を有効活用し、新たな観光ルートの設定や魅力あるまちなみへの誘導を促進していく。</li> <li>・本市の「福祉のまちづくり」と連動することで、誰もが訪れる街づくりが、持続的な中心市街地の活性化につながるとして取り組んでいく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなか回遊マップ等情報案内の定期的な更新</li> <li>・着地型地域密着旅行商品の発掘と誘導</li> <li>・バリアフリーなど福祉の視点を根底にした事業</li> </ul>

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
<p>B欄 改善策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未達成の目標を達成するための改善策</li> <li>・未解決の課題を解消するための改善策</li> <li>・新たに発生した課題に対する改善策</li> </ul>			

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
—	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

**添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画**

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度					予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	来街者数(歩行者通行量)	人/9H	1,400	H17	1,800	H22	確定 ●	2,047	○	あり	-	-	-
							見込み			なし			
指標2	満足度(石垣らしさ)	%	55	H17	70	H22	確定 ●	79	○	あり	-	-	-
							見込み			なし			
指標3	満足度(わかりやすさ)	%	33	H17	60	H22	確定 ●	73	○	あり	-	-	-
							見込み			なし			
その他の数値指標1							確定 ●						
							見込み						

**添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方**

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・アンケート調査において、添付資料の活用により事業内容等を十分に伝えることができた。	市民等を対象としたアンケート調査を実施する際には、分かりやすい添付資料等を活用することを検討する。
	うまくいかなかった点		
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		市民からの事業等への理解を得やすくする上で、課題と目標との関係性を分かりやすくすることを検討する。
	うまくいかなかった点	・課題が多岐にわたり、目標がその解決を代表していると言い難い設定となっている。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・モニタリングを実施したことにより、交付期間中の事業の進捗状況や効果を確認することができた。	他の事業でも有効と思われるので、手法の活用を検討していく。
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

**添付様式6ー参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)**

なし



## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成22年11月19日～12月3日	平成22年11月19日～12月6日	担当課への電話、FAX、電子メール、郵便、持参	都市建設課 (都市再生整備計画事業担当課)
広報掲載・回覧・個別配布	市報に市のホームページで原案を公表する旨を掲載	平成22年11月1日発行 広報10月号	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	石垣市建設部都市建設課窓口での閲覧	平成22年11月19日～12月3日	平成22年11月19日～12月6日		

住民の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各事業が有機的につながっていて、全体のテーマを創り上げている感じがしていいと思う。</li> <li>・琉球石灰岩、赤瓦、ミンサー模様、カー舗装、どれも石垣らしく、わかりやすくいいと思う。</li> <li>・琉球石灰岩、赤瓦、ミンサー柄など、石垣らしい素材がふんだんに使われているので、雰囲気良くなった。</li> <li>・このような動きがたくさんのお店にも広がっていくようになったらいいと思う。そのためには、市からの補助金や、お店の入り口には石垣らしい素材を使うようなルールがあってもいいのかなと思う。</li> <li>・HPを見るまで、(各事業が)行われている事を知らずにいた。</li> <li>・キレイに舗装されていたりして、歩きやすかった。</li> <li>・リゾートという事であれば、キレイな整備は、必要だと思う。島に何を求めて来ているか各人違うとは、思いますが、私個人の意見としては、島らしさをなくさずに、それを活かしての整備を求めます。沖縄本島のようになるとは、石垣に行きたいと思う事はなくなると思います。</li> </ul>
-------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## (6) 事後評価委員会の審議

### 添付様式8 事後評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	石垣 久雄(元高等学校校長、石垣市景観審議会会長)	平成22年12月20日	都市建設課 (都市再生整備計画事業担当課)	石垣市中心市街地地区 都市再生整備計画まち づくり評価委員会設置要 綱	独自に設置
その他の委員	石垣商工会事務局長 観光協会事務局長 中央商店街振興組合理事長 (株)タウンマネジメント石垣専務取締役				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書に従って、事後評価が実施されたことが確認された。また、評価値の季節調整等一部の変更点について、変更が適切であると確認された。
	成果の評価	・来街者(歩行者通行量)について、観光客が減少傾向のなか本当に増加したのかとの意見があった。 ・モール内及び周囲の個性的な店舗の出店等により、測定地点の歩行者数は確実に増加していると感じられるとの意見があった。 →これまで行ってこなかった中心市街地への誘導方策の結果、素通りしていた人たちが一部、モール内に誘導されたものと考えている。(市の見解) ・当該事業をきっかけとして他の事業が誘発されたことについては、定性的な効果といえるのではないかととの意見があった。 →関連事業や指標が改善した理由に記載があるが、定性的な効果欄にも記載することとする。(市の見解)
	実施過程の評価	・評価の内容が妥当であると確認された。
	効果発現要因の整理	・意見なし。整理の内容が妥当であると確認された。
	事後評価原案の公表の妥当性	・意見なし。公表及び結果の対応が妥当であると確認された。
	その他	・特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・やるかやらないか分からない事業をいつもまでも位置づけておくのはいかがなものかとの意見があった。 →都市再生整備計画の事業からは外したが確実に中止になった訳ではなく引き続き担当部署で検討を続けていくと思われる。(市の見解)
	フォローアップ	
	その他	・特になし。
その他	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると確認された。
その他	・特になし。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

# 都市再生整備計画(第2回変更)(案)

いしがきし ちゅうしんしが いちちく  
石垣市中心市街地地区

おきなわけん いしがきし  
沖縄県 石垣市

平成23年3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	沖縄県	市町村名	いしがき 石垣市	地区名	いしがきしちゅうしんがいのちちうく 石垣市中心市街地地区	面積	107 ha				
計画期間	平成	18 年度	～	平成	22 年度	交付期間	平成	18 年度	～	平成	22 年度

<b>目標</b> 大目標：ようこそ とうもーるへ 交流拠点いしがき～海に開かれた交流による都市観光の推進のために～ 目標1：港と中心市街地を人の交流を促進する拠点として一体的に形成 目標2：石垣、八重山の地域資源を活用し、「石垣らしさ」を再生 目標3：情報等の充実を図り、観光客、買物客等来街者をもてなす機能の強化								
<b>目標設定の根拠</b> <b>まちづくりの経緯及び現況</b> [まちづくりの経緯] ・平成14年度に「海に開かれた交流による都市観光の推進」として都市再生本部の選定を受け、石垣市観光推進地域別検討委員会を設置し、まちづくりの基本コンセプト、都市観光の推進の目標及び検討課題としての具体的施策の展開の整理を行った。また、平成15年度は、平成14年度の検討結果を踏まえ、「港を中心としたまちづくり検討調査」として、「全国都市再生モデル調査」の対象地区に選定され、社会実験を通じた、観光交流の拠点、生活交通の拠点である石垣港を訪れる来訪者の中心市街地への誘導方を検討を行い、港づくりとまちづくりが連携した都市再生の実現に向けた「まちづくり行動計画」をとりまとめた。 [地区の特徴] ・本地区は、島の交通の要衝である港湾地区と、商業施設や公共施設が集積する石垣市の中心市街地である。 ・本地区は、国内外からの来島者を迎える「地域の顔」、日本最南端の「国境都市」としての拠点性、重要性を有しており、古くから本市のみならず八重山広域の中心市街地として栄えてきた歴史を持つ。 [まちづくりの現況] ・本市の中心商業地は、観光客を対象とするお土産店、飲食店などがある一方で、最寄品等の業種が少なく、市民生活に身近な商業地となっていない。郊外への大型店の立地が進むなかで中心商業地では空き店舗も目立っている。 ・本市への観光客の多くが、離島と呼ばれる西表島や竹富島観光に向かい、石垣島は宿泊基地となっている。そのため、中心商業地に隣接する離島航路の石垣港には多くの観光客が集集するが、これらの観光客が中心商業地での購買等にあまり結びついていない。また、中心商業地内の歩行者通行量も区間によって大きく異なり、港を起点とする観光客等の回遊行動も、特定の区間での回遊が多い。さらに、現在、新しい旅客ターミナルの整備が計画されているが、当ターミナルは、中心商業地から離れて整備されることから、観光客の誘引の視点で影響がでることが懸念されている。 ・観光客等のニーズのなかで、まちでの案内、情報等の不足、石垣らしさの工夫、演出が商品、空間に求められている。また、中心商店街からの情報不足、商品・個店に対する不満、利用者によさしくない施設といったことが指摘されている。								
<b>課題</b> ・本市の中心市街地自体を目的としない観光客を潜在的な顧客として捉えるなど、離島観光客のポテンシャルを最大限に活かし、中心商業地での購買等、活性化につなげていく必要がある。また、交流拠点として、市民と観光客の間の交流が図られるよう、生活と観光が調和する必要がある。そのため、市街地構造上、港と中心市街地が一体として交流拠点機能を果たすよう、また、中心商業地において、さらにその周辺の観光資源を含めた回遊性が向上するよう、情報等の充実や公共施設等による誘導等が必要である。 ・中心商業地の魅力を創出するため、公設市場やあやばにモールなど既存施設における南国らしさ、賑わいを演出するとともに、新たな機能の導入、個店における商品・サービスの充実などを図る必要がある。また、商店街、まち全体として、石垣らしさ、雰囲気を感じられる“しつらえ”等を再生する必要がある。 ・市民、観光客双方から愛されるようホスピタリティを感じられる「まち」とすることが必要である。								
<b>将来ビジョン(中長期)</b> ・第3次総合計画では、平成17年を目標年度とし、「光と風 ゆめみらい交流都市いしがき」を将来像に掲げ、人情豊かで青と緑の自然都市など5つの都市目標を設定している。 基本的に視点の一つである「魅力ある交流拠点形成」のなかでは、独自の歴史性や景観形成、自然とのふれあいに配慮した道路、港湾、海岸、都市公園、旅客施設等、魅力を高めトータルアメニティ(総合的な快適空間)の向上を意識した公共インフラを整備するとしている。 ・石垣市中心市街地活性化基本計画の中では、「日本最南端の国際自然観光文化都市の形成に向けた活力ある中心市街地の整備を戦略ビジョンに、地域内外の人々のふれあいを生み出す“タウンツーリズム”を提唱し、具体化に向けて、「まちづくりマネジメント」に加えて、「商業の再編」、「港をゲートとしたまちづくり」、「歴史と触れあえるまちづくり」の6本柱を提案している。 ・石垣港港湾計画では、地域の産業振興への貢献、魅力ある国際的観光拠点の形成、市民生活への貢献、中心市街地の活性化など、7つの基本方針を定めている。また、多様な機能が調和し連携する質の高い空間を形成するため、具体的な機能ゾーンとして、物流関連ゾーン、人流ゾーン、海洋性レクリエーションゾーンなどの5つのゾーン設定がなされている。港湾の再開発の考え方としては、港湾計画の基本方針を踏まえ、「旅客への利便性向上を図るため、離島旅客ターミナル、浮桟橋の整備」、「市民が利用できるウォーターフロント機能(親水プロムナード、緑地等)の導入」、「中心市街地へ連絡する緑道・遊歩道等の配置」などを方針としている。								
<b>目標を定量化する指標</b>								
	指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1.	来街者数(歩行者通行量)	人/9H	中心市街地内の来街者数(銀座通り(あやばにモール内)公設市場前における午前10時～午後7時の歩行者通行量(平日・休日の平均))	観光客や市民等を中心市街地内を回遊させることを目標としており、特に衰退の目立つ中心商業地の銀座通り(あやばにモール内)の来街者数が増加することにより目標を達成することとする。	1400人	H17	1800人	H22
2.	満足度(石垣らしさ)	%	観光客や市民へのアンケート調査での「石垣らしさ」についての満足度	地域産材を使用した住宅や店舗を増やし、石垣らしい街並みを創出し、観光客や市民の歴史・文化に触れる機会を創り出すことを目的としており、訪れる観光客や市民が街なかの「石垣らしさ」に対する満足度指数が向上することにより、目標を達成することとする。	55%	H17	70%	H22
3.	満足度(わかりやすさ)	%	観光客や市民へのアンケート調査でのまちの「わかりやすさ」についての満足度	観光客等の来訪者に、迷わず安心して街なかを歩いてもらうことを目的としており、来訪者がまちの「わかりやすさ」に対する満足度指数が向上することにより、目標を達成することとする。	33%	H17	60%	H22

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(港と中心市街地を人の交流を促進する拠点として一体的に形成)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心商業地と港湾の結節強化を図り、離島観光に赴く観光客が中心市街地を回遊することを目指し歩行者導線に配慮したカラー舗装、公開空地、緑陰等を整備する。</li> <li>中心商業地であるあやばにモールにおいては、公設市場周辺を中心に市民観光客ともに楽しめる空間づくりを目指し、モール内の小路のカラー化等を推進する。</li> <li>中心市街地に市民を回帰させるために必要となる、市民によるまちづくり活動の拠点としてゆんたく広場を整備する。</li> <li>中心市街地のまちづくり活動としての会議等に必要となる調査を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高質空間形成施設(基幹事業/中心市街地内道路等環境整備事業)</li> <li>地域生活基盤施設・広場(基幹事業/中心市街地内道路等環境整備事業:ポケットパーク)</li> <li>地域生活基盤施設・駐車場(基幹事業/蔵元駐車場整備事業)</li> <li>地域創造支援事業(提案事業/あやばにモール内環境整備事業)</li> <li>地域創造支援事業(提案事業/ゆんたく広場整備事業)</li> <li>まちづくり活動推進事業(提案事業/まちづくり活動支援事業)</li> </ul>
<p>整備方針2(石垣、八重山の地域資源を活用し、石垣らしさを再生)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地に八重山の文化を感じ、触れ合える空間整備を目指し、蔵元(首里王府の八重山への出先機関)の跡地を整備する。</li> <li>中心市街地に点在する八重山らしい空間、施設等を観光客等に、よりわかりやすく、かつ八重山らしさが感じられるような整備を行う。</li> <li>石垣らしい景観づくりを推進するため、民間による景観形成を助成することを目的とした制度を創設するとともに、景観づくりに必要となるまちづくり活動を支援するため調査を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域生活基盤施設・公開空地(基幹事業/蔵元跡地整備事業:公開空地整備)</li> <li>地域生活基盤施設・情報板(基幹事業/回遊スポット整備事業)</li> <li>地域創造支援事業(提案事業/景観形成推進事業)</li> <li>地域創造支援事業(提案事業/蔵元跡地整備事業:文化財調査)</li> <li>まちづくり活動推進事業(提案事業/回遊スポット整備事業:資料収集・出版)</li> <li>まちづくり活動推進事業(提案事業/まちづくり活動支援事業)</li> </ul>
<p>整備方針3(情報等の充実を図り来街者をもてなす機能を強化)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地を訪れる人達が、わかりやすく楽しみながら回遊できるように、中心市街地内の情報を提供するため情報版、案内板等を整備する。</li> <li>観光客の中心市街地内の回遊を助けるマップを整備する。</li> <li>中心市街地を訪れる人達を快適に頼んでもらうための市民によるあまちづくり活動を支援するための調査を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域生活基盤施設・情報板(基幹事業/情報板・案内板整備事業)</li> <li>まちづくり活動推進事業(提案事業/回遊マップ整備事業)</li> <li>まちづくり活動推進事業(提案事業/まちづくり活動支援事業)</li> </ul>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○まちづくり活動の状況について <ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地の通り会、商店街振興組合等の事業者団体と連携を図るため、まちづくり部会を開催し検討している。</li> <li>㈱タウンマネジメント石垣においては、市民によるまちづくり活動の中心的存在として、市民、事業者等の有志を中心にまちづくり勉強会等の活動を行っている。</li> <li>市役所においては、都市計画と商工振興行政、文化行政との連携を図るべく、庁内会議を立上げ、都市再生事業の推進に向けた体制を組んでいる。</li> </ul> </li> <li>○交付期間中の計画の管理について <ul style="list-style-type: none"> <li>石垣市 都市建設部 都市計画課が事業の総合調整機関としての任務を行う。</li> <li>本事業に関連する部局間で、連絡調整会議を定期的に開催し、事業進捗の確認、事業内容の調整等を行うことで、効率的な事業推進を図っていく。</li> <li>事業進捗状況を、「広報いしがき」で事業の節目ごとに随時公表することで市民への周知を図っていく。</li> </ul> </li> </ul>	

